

全職工の聯合による大へ里思を掛けて居る連絡を取る。

刈穂草聯合其の著の因答手續の繰回の出で主張した文書は、忠貴同
穂草聯合の加入する職工は、必ず新支会へ、舊の聯合會より
離さぬ。

合の宣傳再開の年賀を以て、穂草聯合を離れて此を思ひて
改言ること、口ひき等の事あることを、忠貴職工の親父鶴音穂草聯合
全然如許に委す。本年乃至の改選後は、結果次第をもつて至る職工
大廻此表導賣員。

財團法人協調會大阪支所

兵器廠大阪支廠

労働組合法が發表實施されるまでは、全然現状維持の方針を探る。

純向上會、向上會は、對抗して所謂中立職工が組合を組織せんとする際も指導する意思は持つて居らぬ、將來反旗を翻すことも無きやを憂慮して居るのである。

幸ひ中立職工の組合組織運動も現在の處皆無の様子である。向上會、純向上會は最近其の選舉は各自の意思であるが、兎も角組合に入する様に、稍々共同的の態度を取つて宣傳に務めて居るが、加入者は割合に少い模様である。

最近來東京本廠に於て新に組合^を設立せんとする運動が顯れて居る、早晚大阪に於ても起るであらうが、支廠としては實際の統制上寧ろ純向上會、向上會の二つある事を希望して居る。